

---

# 魔法少女リリカルなのは～悲劇（喜劇？）のBody exchange～

辰巳

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは 悲劇（喜劇？）のBody exchange

### 【Nコード】

N2876BA

### 【作者名】

辰巳

### 【あらすじ】

テンプレ的転生でリリカルなのはの世界に行くなって聞いてたんですが？

ここ何処？海鳴市じゃ無いの???

聞いてた容姿と違うぞ！どうなってんだ？

天界コンピューターシステムのバグによって本人の意思とは無関係に

転生させられたり、体を入換えられたり、転生場所をすっ飛ばさ

れたりされた主人公、正木龍司が原作と絡むかも？しれない物語である。

\*\*\* 警告！ この作品はド素人の処女作の為 ツッコミ処、批判処

満載です。 パクリ警報発令中！ ハーレム・御都合主義・オリ主最強

・原作は何処いった？・原作キャラ粉碎 などの成分を多量に含みます。 作中の都合により原作の設定、時系列、キャラの年齢等を変更する場合があります。

何処かの誰かの 独り言（前書き）

はじめまして、作者の辰巳です。

この作品はド素人の処女作の為 ツッコミ処満載です。

パクリ警報発令中です。

時間がかかっても最後までがんばります。

何処かの誰かの 独り言

ボクの人生はこんなじゃなかったはずだ……

美しい体で…… 可愛い原作キャラ達のハーレムを作り……

御金の心配もする事無く…… 宮殿の様な家に住み……

強い彼女達に守られて……

第二の人生を謳歌するはずだったのに……

なぜこうなった… どうしてこうなった…

こんな醜い体で… 無能で下賤な奴らに囲まれて…

端金の心配に心を削り… あばら家に住み…

身を守る為に愚かな脳筋共に媚を売り……

くそ面白く無い人生を送り……

今じゃこんな姿になってしまった……

悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…  
悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…  
悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…  
悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…  
悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…悔しい…



いや！ まだ間に合う！ あの美しい体を取り戻す事ができれば！

ボクの本当の体！ 美しいボクの体！

取り戻す！ 絶対に取り戻す！

絶対に 絶対に 絶対に 絶対に……………

何処かの誰かの 独り言（後書き）

暗い出だしですが 基本コメディ + 少量のシリアス でいきま  
す。



只今 立て籠もり中 もしかして私ら犯罪者？

えー 私は この作品の主人公（仮）の正木龍司 と言います。  
今 大変忙しいのでこれで。それじゃ（＾|＾）ノ

「うーうー また増える。」

窓から突き出したCCDカメラの映像には兵員移動車らしき車から続々降りてくる  
機動隊員？らの姿が映し出されている。

しかし、奴らはゼーゼーッタイ私ら知ってる者と違つのは断言できる。だって、  
変な杖構えて、バカスカ ビームやら光弾撃ってくる警察が居てたまるかっ！

窓から顔を出さないようにしながら（顔だと、どうなるかは脇に転がってる頭の無い  
マネキンで実証済み）

「このは姉！ 空の様子は如何？」

「駄目！ 十人ほど浮いてるし 狙撃銃持った人間乗せてるへり  
コも飛んでる。」

天井にはり付いて さっきの砲撃で出来た天井の亀裂から 全天型レンズを付けた

CCDカメラで空の様子を見ながら答える 双子の姉の片方を見上

げた。

しかし、本当に規格外な奴！

どうやって、そこに上ったんだよ！ とか、

どうやって、手掛かりも足掛かりも無い天井にはり付いてられるんだ！ とか、

スカートで上るの止めたほうが良いんじゃない？ とか

いろいろツツコミ処 満載なんだが しても無駄な事は 赤ん坊の時から長い付き合いで分かってる。

で、現実逃避したくなる気持ちを奮い立たせて もう一人の規格外、双子のもう片方に進展をきいてみるか。

「なのは姉ちゃん そっちは如何？」

「ん〜 後1分で落とすから。」

と 可愛く小首を傾げて 物騒な事をのたまう姉ちゃんの前にいる縄でグルグル巻きにされた中年のオツさんはもう殆んど泣き出す寸前である。

このオツさんはさつき其処にあった地下通路の出口から突然襲い掛かってきた

5人組みのリーダーらしき奴だ。(まあ 私とこのは姉が5秒で全員ボコったけどね)

後の4人は蓑虫にして窓から捨てた。まだ窓の外でゴソゴソ音がある所みると

まだ其処に居る様であるが。

などと色々考えてると。

「落ちたよ」 ってニコニコしながらこっちにやってくる姉ちゃん  
の向うには

泡吹いて倒れてるオッサンが。哀れである南無南無。

まあ、姉ちゃんのO・NE・GA・Iに5分間も耐えたんだから  
凄い精神力だと褒めておこう。

私も食らった事があるが あの威力は絶大である。

何かされている訳ではないのだが 何と言うか 【口調・テンポ・  
イントネーション・言葉使い】等が複雑に絡み合って人の生命力ゲ  
シゲシ削っていき、常人なら30秒で失神させる威力を誇っている。

とまあ オッサンの健闘を讃えるのはこれくらいにしてっと。

(オッサンは部下達と同じ所に捨てましたが何か問題が?)

「でどうだった? 情報とれた?」

「うんとね。 ここは ミッドチルダの首都グラナガン、第11  
79 港湾施設ってとこなんだって。」

ミッドチルダ? グラナガン? 何処かで聞いたことある地名だ  
な。何処できいてんだっけか?

でも 少なくとも地球上の国じゃないよな。

「知ってる?」 っと 天井から逆さにぶら下ってってる姉に聞いて  
みる。(だから どうやってぶら下ってんだよ! 何でスカート

が下がって来ないんだ？とツツコミたいが 無駄だろね)

「龍や なのは姉ちゃんが知らない事を私が知ってるわけ無いじやん。」

はい はい 聞いた私が馬鹿でした。

「でどうするの 龍ちゃん？」と なのは姉ちゃんが聞いてくるが 如何したらいいものやら。

やっぱり突破するしかないのかね？ でもこの二人何とかせんと突破は無理だよな

CCDカメラの映像に 左目に青アザ作ってるピンクの髪をポロロテールにした御姉さんと

帽子に靴後を付けた赤い服のロリっ子が映っているのをみながら 今日何度目か分からなくなってしまった溜め息を付いた。

「もう 私駄目かもしんない (T|T)」

悲劇(喜劇?) (この一言から始まった) (前編) (前書き)

間違って途中で投稿してしまったんで 前後編に分けました

悲劇(喜劇?) (この一言から始まった) (前編)

全てはこの一言から始まった。

「「龍(ちゃん) 【どこ〇〇ドア】作って!」」 と双子の姉達  
が言ってきた。

えっ! 【どこ〇〇ドア】ってのは あの国民的人気者の青い狸型  
ロボットが使ってるあれですか?  
なんでまたそんなもんを、まあ便利ではあるが。

「ほら、今日から夏休みじゃない、【どこ〇〇ドア】があれば彼  
方此方に遊びに行くのに便利!」

「龍ちゃん 小学校最後の夏休みなんだよ。楽しまなきゃ!」

「「ランドやジャパンに行きたい(んだよ)!」」

あゝ 昨日見たテレビの特番に影響つけたのか。まあ、岡山県の  
片田舎からじゃ連れてってもらえるかは微妙だわな。気持ちは分か  
るが、しかし……

「姉ちゃん。いくら私が転生者で能力持ちでも、設計図も何も  
無い空想道具はつくれないよ!」

そう、私は転生者である。転生担当の石頭新人役人よれば天界コ  
ンピューターのバグで

私のデータが消えてしまって閻魔庁で裁判ができなかったとの  
こと。

じゃあ、『記憶も全部消せよ!』って言ったんだけど。『規則ですから。』だそうなの。

で、向うが押し付けてきた能力ってのが

【クリエイト能力】・・・設計図が有るか私の記憶にある  
(完全記憶能力はデフォで付いてた)

物なら材料や道具が無くても製作する事が出来る。(大きさや複雑さによって時間が変わる。)

【修理改造能力】・・・原形が残っているなら構造や理屈が分からないパーツ的な物でも修理改造する事ができる。

まあ、後幾つか有ったと思うが忘れた、だって必要ないもん。

5歳の時前世の記憶が戻った時驚いた、天界で説明受けたのと全然違うんですよ。

容姿なんか中肉中背モブ顔だったはずなのに、銀髪赤目・黙って立ってれば厨二病的美少女になってた。思わず付いてるか確認しちやいましたよ、付いてて良かったけど。

転生場所も何処かの国にある陸士訓練学校の新生だったんだけど 岡山県の片田舎、榎木神社の境内にある御神木の根元に捨てられていたらしい。

**悲劇（喜劇？）（この一言から始まった）（後編）（前書き）**

ミスちやって 変な所から始まります。

文章力とオリジナル設定を出せる能力が是非とも欲しい今日このごろ。



悲劇（喜劇？）（この一言から始まった（後編））

でもって、能力はどうなってるんだろうと確認する事にしたんだけど、ここでミスってしまった。

いやね、ちゃんと周り良く確認したんですよ。

でも、何時の間にか後ろに居たんですよ二人共。シツカリ能力発動したのを見られちゃいました。全く気配なかったぞ???

姉ちゃん達には父さんと母さんには言わないでってお願いしたんだけど夕食時に思いつきりばらしてくださいました。気味悪がられて捨てられるって思って泣きながら荷造りしたのは 幼い日の塩味の効いた思い出です。

思ったより肝の据わった両親で助かりましたが。でも、次の日には村の大人全員に知れ渡り（さすがに子供には知らされなかったらしい。）、二日後には 修理依頼で一杯になるとは予想外でした。

まあ、あの後村の秘密知った時、転生者の一人や二人何てことないわってって納得しちゃいましたが。（まさかあの時修理した訳の分らない部品が あんな物の部品だったとわ！）

で、家族みんな私の能力知ってるんで そんな事言ってくるのは分かるが 出来ないことは出来ない。

しかし、我が姉達には抜かりは無かった。

「大丈夫、鷺羽ちゃんに設計図書いてもらったから。」って分厚い設計図押し付けてきた。

おいおい、大丈夫か？ 鷺羽ちゃん作ならキッチリ作動するとは思っけど？

私作る事は出来るけど作動理論やらなんやらは全く分からんから何か細工されてても分かんないんだぞ！

あの人、前科一杯有るんだからな！ 被害被つてのは主に本家の天地兄さんと私だけだ。

あ！ 姉達がかつち見てる そんな期待に満ちたキラキラオメメで見ないで……

「分かった！分かりました！ 作りますから。でも製作と作動プログラムの開発考えると1カ月以上かかるよ？」

「それも 大丈夫だから 作動プログラムも貰ってきてるから。」

あゝそうですか、プログラムも開発済なのね。

「じゃあ、1週間つてとこで。」

「うん！ 待ってる（ね）。」「って良いお返事が返ってきました。」

でもな、何か脳内アラームが鳴りっぱなしなんだけどな？不安だ。

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*



！吸い込まれる！

「私 もう駄目かもしんない (T|T)。」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2876ba/>

---

魔法少女リリカルなのは～悲劇（喜劇？）のBody exchange～

2012年1月9日06時48分発行